

平成18年
(2006)



きかい 広報

7

発行/鹿児島県喜界町役場 ㊟891-6292 電話0997-65-1111 編集/企画課 印刷/南日本新聞開発センター

No.469

町村合併50周年記念



あの日 あの頃

昭和30年代の第一中学校

昭和三十三年の喜界第一中学校校門前です。
左に見える校舎を当時は、使っておりまして。
下駄履きとオカッパ頭に時代を感じます。
名瀬市在住/大倉 信子(旧姓川口)/当時十五歳

◆喜界町和牛改良組合◆

町経済浮揚の核となるか

～販売実績も順調な伸び～

喜界町和牛改良組合（思照也組合長〓七十四戸）は、昭和四十一年に喜界町和牛振興組合として設立され、五十三年に喜界町和牛改良組合と改称、飼養農家の所得の増大や福利増進を図ってきた。現在、町子牛セリ市場で年間子牛出荷千頭を四年連続達成、売上高も二年連続して四億円を突破。市場の高値安定の中、順調に販売実績を伸ばし、今や町の地域経済浮揚の核となる勢いで、今後、畜産業に込められる期待は大きい。

和牛畜産業の歴史

『南西諸島喜界島の自然と畜事情』によると喜界島の戦前・戦中の畜産業は、豚、ニワトリ、ヤギが動物性蛋白質の供給源として自家用に飼養され、戦時の軍馬・農耕用として活躍した名馬「喜界馬」が出荷される程度であった。戦後は機械化が進み、役畜としての馬は影を潜める。変わりに生産量を伸ばしたのが、堆肥・荷役用としてごくわずかに飼われていた和牛（肉用）。

昭和二十九年には、県有牛貸し付け事業が、三十年には町有牛貸し付けが導入され、三十八年には人工授精師が誕生、四十二年からは町営肉用牛繁殖育成センターの開設で農協牛導入事業が実施され、これを機に飛躍的に生産量が

増え、肉用牛生産時代へと変貌する。

生産飼養頭数・戸数の現状

飼養頭数は、昭和四十四年の千四百頭・戸数六百二十五戸をピークに、その後の子牛価格の低迷や過疎化の進行、牛肉の輸入自由化などの影響を受け、昭和五十六年には、八百二十三頭・百十戸まで減少したが、昭和六十二年以降飼養頭数は増加基調にあり、平成十七年には二千二百二十頭と大幅に増えている。一方、戸数は七十四戸と大幅に減少。これらことから一生産者の多頭化が進行している実態が浮かぶ。

最近の子牛セリ市場

過去四年間の子牛出荷頭数と売上額の推移は、平成二十二年度千二十四頭・三億二千九

百万円、同十三年度千十七頭・三億六千三百万円、同十四年度千三十五頭・四億一千五百万円、同十五年度千四十七頭・四億四千九百万円。四年連続千頭を達成し、売上高四億円突破も二年連続。

奄美群島7JAが合併して初セリとなった五月市場の概況をJA鹿児島県経済連奄美市駐在が公表し、「入場頭数は前年同月に比べ九十八頭多く前年同様生産者の増頭意欲が窺える」と評価。その要因を「飼育側の旺盛な購買意欲と市場の全体的な商品性の向上」と分析した。

そして、肥育経営の在り方を「枝肉相場の不透明感や枝肉段階でのコストの上昇に直結する子牛相場の高値を受け」とし、また、「米国産牛肉の輸入再開によつては、子牛相場低下も懸念される」と今後の相場動向を示した。商品性向上対策として「削蹄の実施による差別化を図る」「過肥防止の徹底」「優れた血統・育種価の繁殖雌牛の保留・導入し、五年、十年先を見据えた繁殖基盤の構築」「自給粗飼料の確保による繁殖経営の安定」などを挙げた。

同組合は、飼養管理技術の

向上、種雄牛の適正交配や肉用牛の改良を進め、高品質化を図り、購買ニーズを的確にとらえて「肉質に加え、増体の良い子牛」の安定生産を図るとともに、「組合員総意の下、新規農家の掘り起こしにも努める」と平成十八年度の方針を掲げた。

畑かんの水による粗飼料供与基盤の拡大を図る産業振興課では、機械化体系を導入して飼料生産の「効率化」を呼びかけ、安定した飼料給与体制の確立と、肉用牛の高品質化を目指す。また、国際競争や産地間競争に打ち勝つ生産性の高い肉用牛を育成し、畜産業の発展と底辺拡大を図り、肉用牛生産地としてサポート体制を敷く。

同組合は、新規就農者も徐々に増え、組合員の減少にも歯止めがかかる。なにより、平成十三年風評被害に揺れたBSE（牛海綿状脳症・狂牛病）問題の時に、組合員が一致団結して難局に立ち向かった経緯があり、組合員相互の意思疎通も十分図られている。取材を通して、市場の高値安定を支える牛飼いの熱意が伝わる。

生育の流れ

①【凍結精液】

種雄牛の精液は液体窒素で凍結されています。血統や種雄牛の過去の実績、母牛との相性などを考えて、精液を選択します。凍結精液は、主に鹿児島本土から購入しています。

②【人工授精】

凍結精液をお湯で溶解し、発情兆候がみられる母牛へ、人工授精師が人工授精を行います。通常、出産後約30～60日の発情期に人工授精を行います。牛の発情周期は約21日です。

③【妊娠鑑定】

人工授精後、約35日以上で妊娠鑑定を行います。母牛の肛門から手を入れ、卵巣や子宮を触診して妊娠しているかどうか判断します。畜産農家にとっては、人工授精がうまくいったかどうか、緊張する場面です。

④【出産】



授精してから約285日でお産します。出産後、母牛が子牛をなめるのは求愛行動のほか、体が冷えるのを防いだり、マッサージ効果により心肺、胃腸機能等を活性化させ、免疫機能を高める効果があると言われています。

⑤【哺乳】



子牛は生まれて1時間以内には立ち上がり、母牛の乳を飲みます。特に、出産直後の母乳（初乳）には、母牛からの抗体（病気に対抗する物質）が多く含まれているため、初乳を消化吸収することは免疫機能にとってきわめて重要です。

⑥-1【哺育（人工哺育）】



生後約3日～2カ月の間、完全に母牛と隔離し、人工哺育で育てます。母牛によっては母乳が多すぎたり、少なかったりして子牛の生育にばらつきがでることがありますが、人工哺育ですることによって解消されます。

また、人を怖がらなくなる効果もあります。

⑥-2【哺育（制限哺育）】

母牛との接触事故防止のために子牛を母牛と隔離します。また、決まった時間に母牛の牛舎へ移動させ、乳を飲ませます。人工哺育、制限哺育とも、母牛にとっては子牛の面倒をみる負担が軽くなる分、発情を早く促すことができます。



⑦-1【子牛登記（鼻紋採取）】

子牛の鼻鏡に墨を付け、鼻紋を採取します。授精証明書等と一緒につづられ、牛の身分証明書となる書類を作ります。牛の鼻紋は人間の指紋と同じで、まったく同じものはありません。



⑦-2【子牛登記（耳標装着）】

両耳に、トレーサビリティ番号（10桁数字）のついた札を付けます。これにより、店頭で並べられた食肉でも、生産者・産地等がわかるようになりました。

⑧【去勢】

生後3～4カ月ごろに、雄の子牛の去勢をします。去勢をすることで、性格がおとなしくなり飼いやすくなります。去勢をしないと筋繊維が固くなる・脂肪がつきにくいなどの支障が出ます。



⑨【鼻環装着】

生後約6～7カ月に鼻環を装着します。このころになると子牛も200kgほどに大きくなり、飼育が重労働となってきます。鼻環を装着するのは、急所である鼻に鼻環をし、移動の作業などを軽くする目的があります。

⑩【予防接種】



セリ出荷約2カ月前に病気予防のために2種類のワクチンを注射します。予防接種をしていない子牛はセリに出すことはできません。
●5種混合＝ウイルス性の呼吸器系障害（肺炎等）を予防。
●牛へモフィリス＝主に細菌性の脳障害（脳炎等）を予防。

⑪【削蹄】

セリに出す前に削蹄（爪切り）を行います。削蹄をしていない牛は姿勢が悪くなり、発育・肉質に影響するため、セリ出荷前に削蹄を行い、子牛の商品価値を高める狙いがあります。

⑫【セリ市（奇数月開催）】

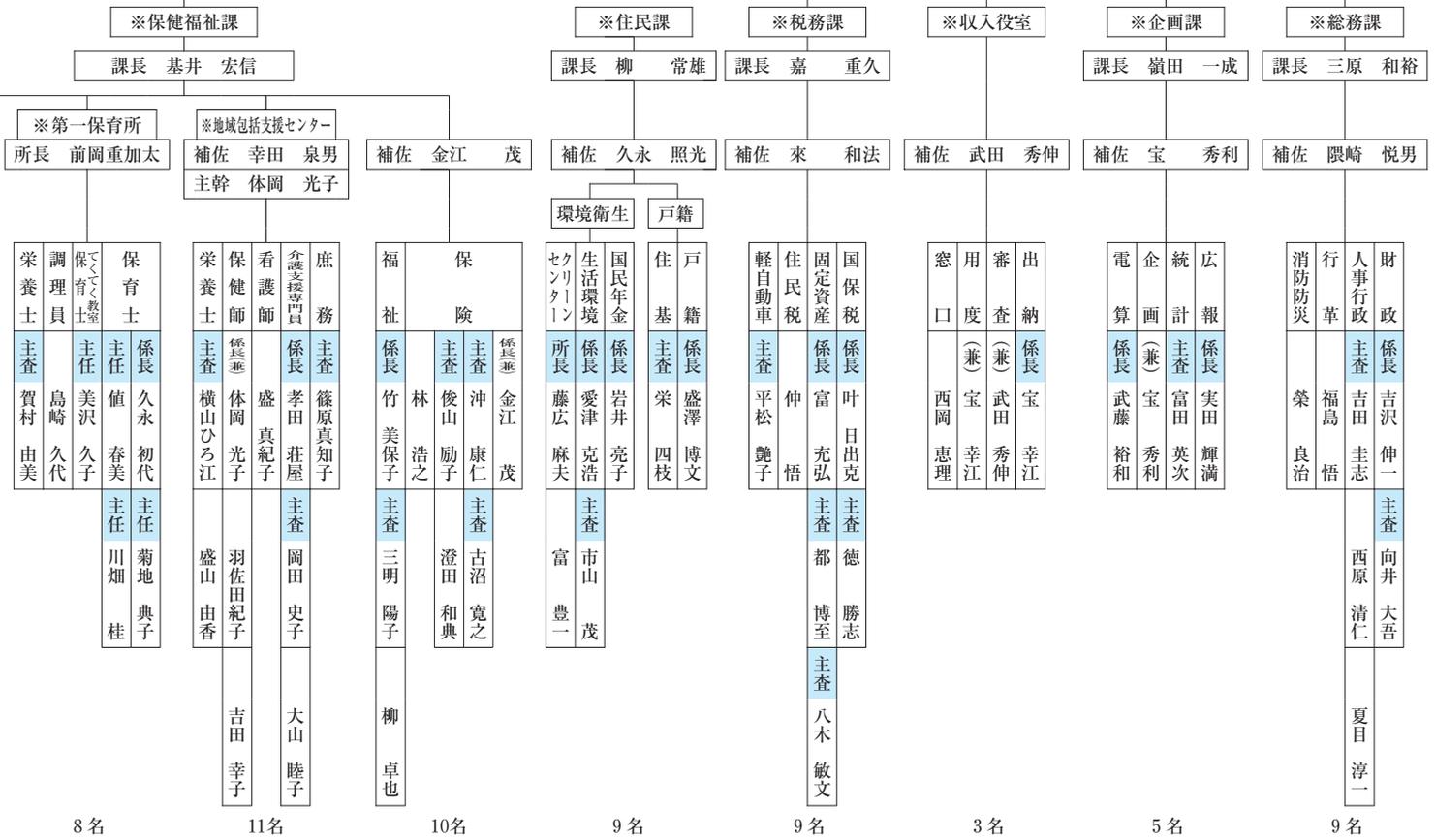


生後約7～10カ月、体重が約250kg以上になってセリ牛として出頭します。セリ市場までの移動、子牛の手入れなどセリの準備で大変ですが、高い値で売れたときには喜びも格別です。

平成18年5月セリにおいては187頭が出頭し、平均して444,086円で購買されました。

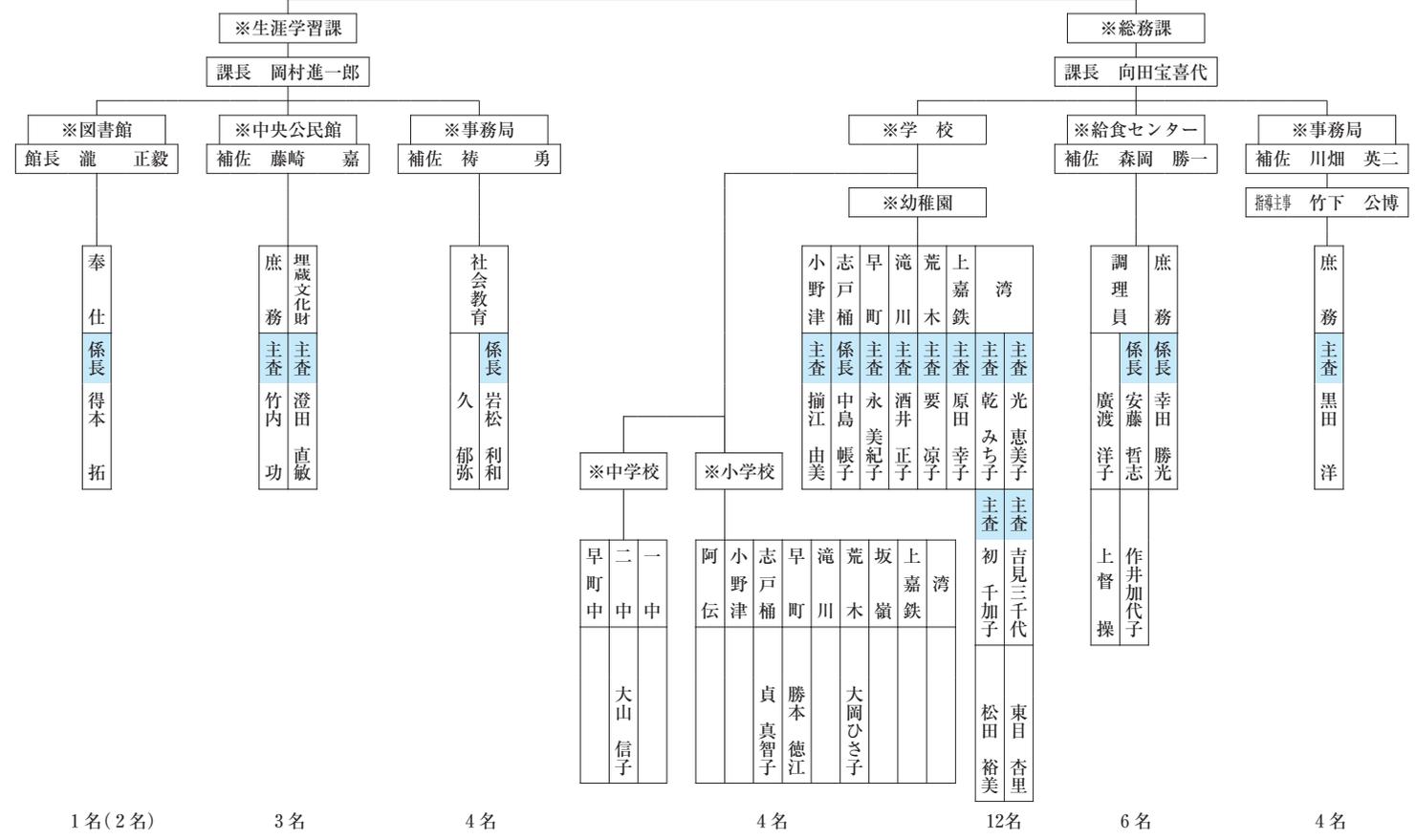
織 図

町長 加藤 啓雄
 平成18年4月1日現在
 職員数 198名(200名)
 助役 藤村 昭五
 収入役 直島 秀守 ※4役は職員数に含まず
 ()は定数外職員も含む



8名 11名 10名 9名 9名 3名 5名 9名

※教育委員会
 教育長 晴永 清道



1名(2名) 3名 4名 4名 12名 6名 4名

下水道の加入に 理解と協力を

本町で下水道事業が導入されてすでに十年。「わーちやしまぬ」生活環境を飛躍的に改善する施設として、その設備拡充が広く住民から求められているが、現在、荒木地区をはじめ供用地区での加入率がやや低位に推移している。施設の有効利用を図る上で、改めて地区住民の加入への理解と協力を深めることが課題となっている。

順調な事業計画

本町の下水道事業は、平成八年の荒木地区を皮切りに同九年には城久地区、同十一年には志戸桶地区でもスタートした(農業集落排水事業)。同十一年には公共下水道事業も導入し、湾・赤連・中里・池治地区での整備に取りかかっている。一連の事業計画は順調に推移し、すでに事業が終了した農業集落排水事業地区でも、また公共下水道事業による赤連および湾の一部地区でも供用が開始されている。

加入率の現状

下水道事業を導入して以来、本町では、下水道が生活環境改善に果たす役割や地域の活性化に必要不可欠な施設であることを様々な機会を捉

スタイルは大きく変貌した。生活雑排水による海や側溝の汚れは深刻になり、環境問題が地域の重要な社会問題のテーマとして提起されるようになってきている。

早期加入を

さて訴え、加入促進に努めてきた。十八年三月末現在の加入状況は以下の通りである。
○荒木地区 四一・〇%
○城久地区 三七・七%
○志戸桶地区 一九・八%
三地域の加入状況は、それぞれの地域で供用開始された時期が違うため一概に比較できないが、集落の特性等(例えば高齢化の構成比)により若干の違いが見られ、概して当局の予想を下回っている。一方、県レベルの加入状況と対比すると、県内の先進地域である鹿児島市を大きく下回り、県平均と比しても低位に推移しているのが現状である。

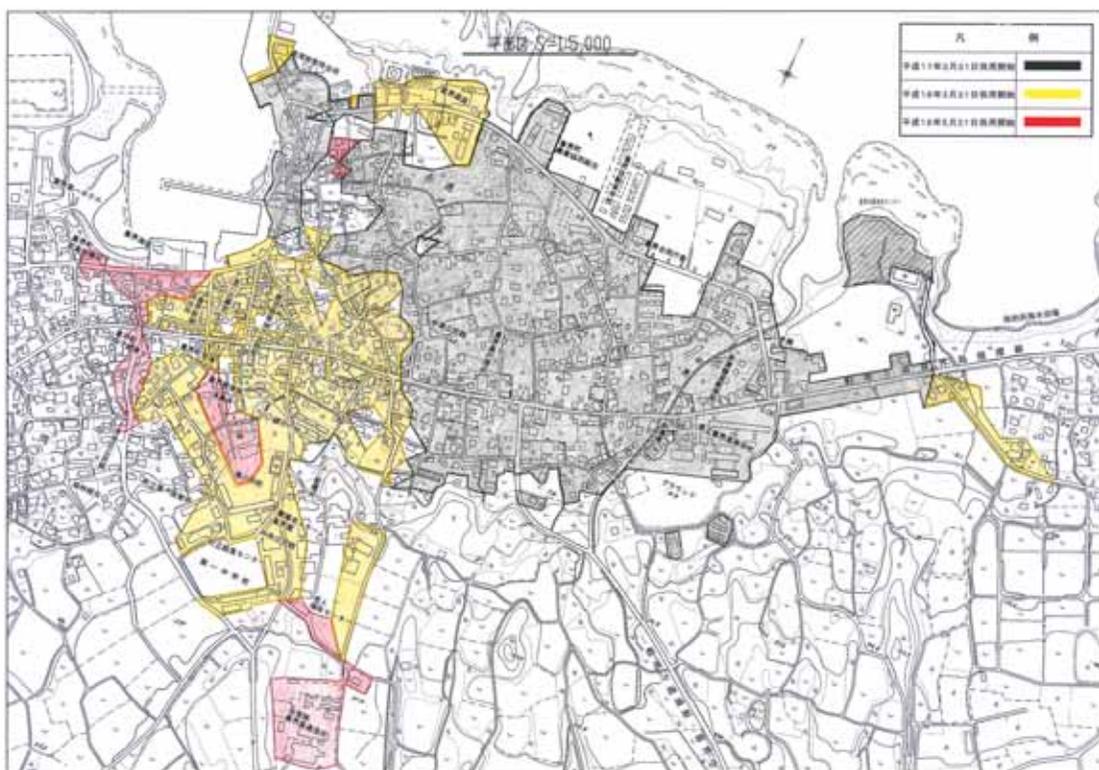
早期加入を

昨今、私たちが住む離島も世に言う近代化に伴って生活

それだけに下水道は地域の環境保全を図る上で必要不可欠な施設であると同時に、水道や電気と同様、暮らしに欠かせないライフラインである。多額の費用を投じた施設の有効活用を図っていかねればならない。下水道法では、共用が開始された地区では遅滞なく排水設備を設置することが義務づけられ、くみ取り便所は三年以内に水洗便所に改造しなければならいと定められている。「加入促進」は、本町における下水道事業のキーワードであり、課題でもある。

加入の手順

- 一、指定工事店への工事の依頼
- 一、町へ申請書の提出
- 一、施工承認の通知



- 一、町が書類を審査して承認書を交付する)
- 一、工事
- 一、工事完了検査
- 一、使用開始の届け出

◆問い合わせ先
喜界町役場水環境課
〇九九七―六五―一一一

喜界島のアリモドキゾウムシ根絶に向けて

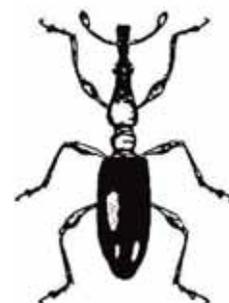
1. アリモドキゾウムシとは

アリモドキゾウムシの成虫は、体長が約7mmでアリによく似た虫です。サツマイモ等に卵を産み、卵からかえった幼虫は、サツマイモを食べて成長します。喜界島を含む奄美群島全域で発生しており、年間を通してその発生が見られます。

アリモドキゾウムシに食べられたサツマイモは、悪臭と苦みが出て、食用はもちろん飼料としても利用できなくなります。



被害サツマイモ



アリモドキゾウムシ成虫

2. アリモドキゾウムシ根絶に向けての取り組み

アリモドキゾウムシの防除に関する取り組みは昭和63年度から始まり、サツマイモを用いた飼育やコバルト60照射による不妊化等の基礎的試験が行われました。

その後、平成6年度から喜界島の上嘉鉄集落で不妊虫放飼による防除を開始。その結果、上嘉鉄集落のアリモドキゾウムシは徐々に減少し、現在はほぼ根絶に近い状態が継続しています。

これらの結果により、平成13年度から喜界島全域のアリモドキゾウムシの根絶を目指した本格的な防除が始まりました。

この防除では、まず喜界島南部の1600ha（約1/4）を第1防除地区として定め、テックス板（合成性フェロモンと殺虫剤を染み込ませた誘殺板）を月1回、約2枚/ha散布し、アリモドキゾウムシの数を減らす取り組みを行っています。そして平成18年度からは、200万頭/週の不妊虫放飼を開始する予定です。さらに、喜界島中西部1200haを第2防除地区として定め、平成19年度から始まるテックス板散布に先立ち野生虫の数を調査するためのトラップ調査等を開始しています。

防除地区の位置



調査用トラップ

3. サツマイモの栽培について

放置サツマイモは、アリモドキゾウムシが増える原因と防除の障害となります。サツマイモを栽培する場合は、次のことに注意してください。

アリモドキゾウムシの被害は、栽培期間が長くなるほど多くなります。適期に収穫を行い、くずイモをほ場内に残さず、収穫後はサツマイモ以外の作物を栽培することにより、被害を減らすことができます。さらに、植え付け後45日頃に薬剤を株元に散布することで高い防除効果が得られます。

4. おわりに

過去、奄美群島においては、海外から侵入したミカンコミバエやウリミバエ等の害虫により、農産物に大きなダメージを受けました。しかし、その後の防除でいずれの害虫も根絶に成功しています。現在取り組んでいるアリモドキゾウムシの防除は、まだ改良を必要とする技術も残されていますが、今後、関係者や喜界島の住民の皆さんと協力しながら、喜界島のアリモドキゾウムシ根絶に取り組んでいきたいと考えています。

受注好調でパワー発揮

喜界町シルバー人材センター総会



七年度の契約高は前年度と比べ三百一十万円プラスの千二百六万円余りとなっている。豊富な社会経験で得た知識・能力を積極的に活用し、広く町民に認知されたことで、一般家庭・企業による受注を順調に伸ばし、シルバーパワーを発揮している。

しかし、「働く意欲はあるものの、希望する仕事の受注が少ない」「軽作業など特に家庭内草刈りや樹木の伐採の依頼は増加しているが、対応できる会員が少ない」などの課題も抱えている。

藤村昭五助役は挨拶の中で「この組織を通して高齢者が社会の一員として働くことは、健康増進にも繋がると同時に、医療・保険の面においても大きく貢献できる」と期待した。

今年の事業計画では、「安全就業意識の共有化と機器操作技能の向上を図り、就業中の事故防止に努めるほか、発注者と作業員の意思疎通を充実させ、発注者の満足度を高める」とした。また、町老人

クラブや町婦人会など関係諸団体との連携に努め、地域社会への奉仕活動や高齢者福祉サービスの充実・補完を進めて行くことを決めた。

同センターでは、平成十八

福祉の充実求める

第40回老人クラブ連合会定期総会



年度の会員を募っている。

特に農家支援は大歓迎。作業内容・標準単価など、詳しい問い合わせは喜界町シルバー人材センター ☎0997(55)へ。

運動、在宅老人福祉対策の強化増進などを掲げた決議文を全員で朗読、福祉の充実を求めた。

平成十七年度の歳出決算額は三百八十四万四千三百七十六円。グラウンドゴルフ大会、交流研修会、町老連スポーツ大会を開催し、郡老連スポーツ大会に参加した。

平成十八年度は対前年度比四万円余減の三百七十六万五千五百七十六円を計上。小学生以上を対象にした「世代間交流ゲートボール大会」を新たに設け、春・秋のゲートボール大会やスポーツ大会を例年どおり開催する予定である。

総会後は、「歴史からみた喜界島の魅力」と題する講演。尾口義男喜界高校長を講師に、喜界島で甦った幕末の歴史家「伊地知季安」と、島興しと島人救済に尽くした喜界島与人「泉禎民」の偉業を学んだ。

最後のアトラクションではアコーディオン演奏などが披露され、会場は熟年パワーで満たされた。

児童手当制度の拡充に伴う

認定手続きはお済みですか？

「広報きかい」五月号で案内のとおり、平成十八年四月一日から児童手当の対象が小学校修了までと変更になりました。五・六年生の児童がいる保護者で、まだ、手続きをしていない保護者は、早めに役場保健福祉課で手続きしてください。なお、九月三十日まで受け付けたもの限り、平成十八年四月分までさかのぼって支給されます。

現在、三十九単位のクラブで構成する喜界町老人クラブ連合会の第四十回定期総会（村上国信会長・会員数二千八百三十九人）が六月六日、自然休養村管理センターで開かれ、平成十七年度事業、収支決算、平成十八年度事業計画、予算案が満場一致で承認された。また、活動の充実や「健康、友愛、奉仕」の三大

「自主」自分のものとして考え・自立「自分たちの力で育てる・共働」一緒に頑張って働く・共助「お互いに助け合う」を基本理念に平成十四年四月に設立された同センターは、五十三人でスタート。当初、年間の契約高は三百八十四万円余りだったが、平成十

「自主」自分のものとして考え・自立「自分たちの力で育てる・共働」一緒に頑張って働く・共助「お互いに助け合う」を基本理念に平成十四年四月に設立された同センターは、五十三人でスタート。当初、年間の契約高は三百八十四万円余りだったが、平成十

多彩なイベント大盛況

●町村合併五十周年記念●

第三回しま興じ祭り

産業と文化と健康福祉の祭典「第三回しま興じ祭り」が六月二十四日、自然休養村管理センターで開かれ、町村合併五十周年を記念する今回は、約千人を越す町民でにぎわった。

式典では、各部門で活躍し

た町民の表彰や、俳優の小西博之さんの講演会、文化協会による舞台発表など、屋内会場は熱気に包まれた。また、屋外に設けられたブースでも、市場価格の半値以下で売り出された農林水産物が飛びように売れ、町と姉妹町差別

町の展示即売会、フリーマーケット、九州初「自転車発電」ライブなど、多彩な催しものは大盛況だった。

特賞「DVDレコーダー」ほか数多くの景品を揃えた抽選会では、当選番号が発表されるたびに笑顔と落胆の表情が交錯。屋内外で所狭しと繰り広げられるイベントに、大勢の町民は初夏の一日を大いに満喫したようだ。



▲健康食「ハンドマ」の炊き込みご飯は人気を集めた



▲前日プロの手ほどきを受けた「黒豚だんご」



▲抽選会は大変な熱気



表彰者

(敬称略＝順不同)

▽地方自治部門

近藤 時義・岡村 次夫
久野 一馬

▽産業部門

伊牟田正子(生活改善)
南島 孝徳(糖業)
吉岡 正雄(園芸)
西野 増明(畜産)
服部 晃(観光)
新山 雅美(水産業)
比嘉 徳和(商工業)

▽工芸部門

岩岡 道子・豊 トミエ
園田 カメ・前川 ミツ
大原 夏・竹本 ウメ
高山 マサ・宮園 エイ
野島 ヨシ・南 美枝
末野 ちる・桜井 邦子

▽教育部門

森 文義・村上 國信
勇 栄・森 コト
西島 常吉・喜島 文江

▽社会福祉部門

西俣 理介・桐野 達江
平 恵子・玉岡 克己
開 典子(財慈愛会)

TOWN まちの話題 News

サッカーで県大会出場

H18年度奄美大島中学校総合体育大会



前、貴重な同点ゴール決め、勝ち点一をもぎ取る。二試合目以降は、豊富な運動量で攻撃のリズムをつかみ、決勝へと駒を進めた。

決勝の対和泊戦では今大会最高の七点を挙げ、完封勝利。全試合を通じて、初戦金久戦の二失点以外すべて0点に封じた。

同大会の出場に向けて課題の「ディフェンス(守り)の強化」のため、選手は高校生や社会人クラブと練習試合をこなした。岡本正一コーチ(38)は「金久

★サッカー

(第一中学校 〓 金久義人校長・百九十三人)

「走って、走って拾う」豊富な運動量で第一中学校サッカー部(部員三十二人)が平成十三年以来、五年ぶりの県大会出場を決めた。

予選リーグ初戦は対金久戦。終始金久にリードされる苦しい展開だったが、主将久野祐紀君が試合終了三十秒

★陸上

(第二中学校 〓 祝義文校長・二十人)

部ではなく同好会として活動する第二中学校の陸上同好会(会員十二人)は、同大会出場に向け、毎週土曜日の午後三時から練習に励んだが、例年になく雨の多い梅雨で思うように練習メニューが消化できず、練習不足に陥った。加えて校内では、風邪などが流行。体調不良を訴える生徒もいて、大会出場には懸念される材料が多かった。

しかし、「出場した五人全員が『強い信念』で大会に臨み、普段見られないような集中力を発揮して実力以上の実績を残した」と伊地知治喜教諭は振り返る。

結果は、県大会三年連続出場の重野修平君(三年) 〓 写



真右 〓 が共通二百位二位、四百位で優勝。初出場となる友岡芳成君(三年)は百位四位、共通走り幅跳び五位。四種目で県大会出場を決めた。

県大会に向けて友岡君は「まずは自己ベストの樹立。自分の精いっぱい力を出し

25年生が二連覇

恒例の年代別コンペ

言いたい放題の、この大会の特徴がうかがえる。

今大会は二十五チーム(百人)が参加、中でも二十六年生が最多の四チームを編成し出場した。

結果は、前年の覇者二十五年生(富田博・沖島均・里俊雄・幸田泉男)が二四三打と四十三年生の追撃をかわし、圧倒する形で二連覇を達成した。

毎年恒例となった年代別コンペが七月二日、喜界町ガーデンゴルフ(バー29・一四七六ヤード)で行われた。喜界町ゴルフ同好会から喜界町ゴルフ連盟に改称して初めてのコンペ。開会式で「ケンカなどしないで仲良くまわってください」と挨拶を述べたのは、高見則男会長。会長の挨拶から、同窓で気心のしれた者同士四人一組のチーム編成のため、茶化しあり、羨望ありの

同連盟は「ゴルフ競技の健全な普及をはかり、町民の体育向上と生涯スポーツの振興に寄与する」と目的を掲げ、平成十八年一月一日に発足。老若男女のゴルファーの世代を超えた交流や技術の向上なども視野に入れ、同好会組織から引き継ぐ大会を継続的に実施しており、更なる会員の確保を目指している。

祭りやライブで町民魅了

II 自転車発電のエコライブII

日本初の自転車発電による「特攻花」の話や熊本杏里電力を利用したライブバンドの「戦いの矛盾」の曲に感銘「エコ・サイクル・クラブ・バンド」と、写真家仲田千穂



「戦いの矛盾」の曲に感銘を伝えるようと数々のイベントを展開する「海と月と風と」のメンバーが来島し、六月二十四・二十五の両日、しま興し祭りや栄忠則さんが経営するライブハウス「サバニ」（中里）でイベントを繰り広げた。

しま興し祭り会場では、子どもが懸命にペ

湾集落で「千丁祝」

湾集落の伝統行事「千丁祝」が百回目を迎えたのを記念して岩田進区長は六月三十日、湾公民館に集落民や加藤啓雄町長、嶺農協長らを招いて祝賀会を開いた。

千丁祝は、明治三十年代のキビ増産奨励に伴って千丁（一樽百二十斤）の黒糖が生産されたのを記念して始まった。毎年、水天宮の祭典（旧暦六月五



伝統継いで百回目

ダルを漕いで発電。蓄積された電気で奏でる桑名正博や島で活躍しているユニット「ドキドキ」（中里出身）らのさわやかな歌声に、会場を訪れた人たちは足を止め、聴き入った。

日）の日にキビ豊作を祈願するとともに農作物の立毛品評会などが行われ、町の伝統行事の一つとして受け継がれている。

平成四年には、第八十六回目の記念として造られた約二畝の石碑が総合グラウンド横の「前の花広場」に建てられた。



七月一日の午後六時。陽のまだ残る湾幼稚園内で第四回湾幼稚園夏祭りがあった。八月踊りやアンパンマン音頭などの踊りを楽しんだり、百円均一の出店コーナーでかき氷をほおぼったりと祭りは大盛況。クライマックスの花火では、園の上空を飾る中輪の花に園児は保護者らとひとあし早い夏の涼を楽しんだ。

一足先に夏を楽しむ

湾幼稚園で夏祭り

湾幼稚園保護者らの主催で、今年で四回目を数える祭りには、孫（園児）と手をとって訪れたおじちゃんだ。

「小型ポンプ」の部

準優勝獲得

II 第37回大島支部消防操法大会 II



第三十七回大島支部操法大会が七月一日、宇検村陸上競技場で開かれた。この大会は、消防団員の士気高揚を図る目的で二年に一度開催されるため重ねた技術、機械操作の訓練の成果を競うもの。

喜界町からは、各分団から選ばれた精鋭団員十五人が参加。ポンプ車（五人）と小型ポンプ（四人）の部門に出場し、所要時間や確実性などを競った。結果は、小型ポンプの部が準優勝。ポンプ車の部は七位入賞。「今年はチームワークが最高」と吉田和彦指揮者（ポンプの部）は語った。

お知らせ

地上デジタルテレビ放送への完全移行

地上デジタルテレビ放送は、二〇〇三年十二月一日から関東・中京および近畿の一部において開始され、二〇〇六年末までには、全ての都道府県庁所在地で開始されることになっていきます。現行の地上アナログテレビ放送は、地上デジタル放送への移行に伴い、二〇一一年七月二十四日までに終了します。

問い合わせ先

受信相談／総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター ☎0570(07)0101
視聴エリア／(社)地上デジタル放送推進協会
ホームページ
<http://www.d-pa.org>

退職金の準備は万全ですか？

中退共済制度（中小企業退職金共済制度）は、中小企業退職金共済法に基づき昭和三十

十四年に設けられた中小企業のための国の退職金制度です。

中退共済制度をご利用になれば、安全・確実・有利な退職金制度が手軽につくれます。どうぞ、ご活用ください。

【制度の特色】

☆適格年金制度からの移行先です。

・適格年金資産を全額移換できます。

☆掛金の一部を国が援助します。

・中退共済制度に新しく加入する事業主に、掛金月額二分の一（上限五千円）を従業員ごとに、加入後四カ月目から一年間助成します。

・一万八千円以下の掛金月額を増額する事業主に、増額の三分の一を増額した月から一年間助成します。

☆掛金は全額非課税となります。

☆パートタイマー等の方も加入できます。

☆退職金の管理が簡単です。

▽問い合わせ先

喜界町商工会
6510169

未来を担う人材を郷土に

新規高等学校卒業者を対象とした求人受理が6月20日から開始されました。

今年は何美大島群島内14校で約370人の就職希望者がおり、うち50人が地元での就職を希望しています。

昨年卒業した学生の中には

「奄美で就職を希望していたが応募の時点で地元の求人はほとんどなかったため、仕方なく県外事業所に応募した」という学生もたくさんいました。厳しい経済情勢の中、雇用の維持等に苦労されていることと思いますが、優秀な人材を郷土に残すため、「早期の求人申込み」にご理解とご協力をお願いします。

※求人申し込み時期は、こんなにも差があるんです。高校求人平成17年10月末の出現率（平成18年3月末を100%とした数値）県外事業所90% 県内事業所71% 名瀬管内事業所40%

求人手続きは決して面倒ではありません。まずはお電話ください。

▽問い合わせ先
ハローワーク名瀬学卒求人

担当

☎0997(52)4611

すこやか長寿社会運動推進協力員

本県のほとんどの市町村で六十五歳以上の高齢者の割合が、二五%を超えています。

喜界町は、平成十八年三月三十一日において三三%に達しています。

そのような状況において、高齢者ができる限り住み慣れた家庭や地域の中で健康で生きがいをもって暮らしていただくことが大切です。

鹿児島県では、「すこやか長寿社会づくり運動」の浸透・普及を促進するため、県知事が「推進協力員」を委嘱しています。この度、喜界町の推進協力員として平成十八年四月一日から平成二十年三月三十一日まで、上嘉鉄地区の村上国信さんが委嘱されました。

この運動がより一層推進されるよう皆様のご理解とご協力をお願いします。

有機物供給センター（堆肥施設）利用者の募集

町では有機物供給センター（堆肥施設）を利用して、堆

肥の生産および供給等を行う団体を募集いたします。利用希望者はお問い合わせ下さい。

◇申し込み方法

所定の「申込書」を用意しています。申し込みを希望される方は、お問い合わせ下さい。

◇申込資格

喜界町内に住所を有する団体、法人（法人の場合は町内に主たる事務所または事業所を有すること）

◇申込期限

平成18年8月25日（金）午後5時まで

お問い合わせ

喜界町役場産業振興課

お詫びと訂正

「広報きかい」6月号の記事中、掲載もれと誤りがありました。以下のとおり訂正・追加してお詫びします。

▽追加（3P）

表彰団体（産業功労部門）
（株）喜禰運送店

▽訂正

「武田信男」↓「武田信雄」
（10P）
「末田良子」↓「米田良子」
（19P）

行方不明者をさがす相談所の開設

警察では8月1日(月)～8月31日(水)の間「行方不明者をさがす相談所」を開設します。
・長い間音信がなく、連絡がとれない
・家出して行方がわからないなどの理由で、行方不明となっている方を捜しておられるご家族の方など、気軽に相談所においでください。

相談所においては、家出時の服装、所持品、身体特徴についてもう一度聞き取り再度調査するとともに、写真をお持ちであれば写真からの再調査も実施いたします。

▽問い合わせ
名瀬警察署鑑識係

☎0997(53)0110

鹿児島県警察本部鑑識課

☎099(206)0110

児童家庭相談窓口

家庭におけるしつけ、性格の問題、不登校、非行、その他の問題および心身障害相談など、気軽に相談ください。

相談窓口

役場保健福祉課

☎6511111(内線37)

内閣総理大臣名の賞状を贈呈します

請求期限は平成19年3月31日まで

先の大戦において、外地等(事変地の区域又は戦地の区域)に派遣され、戦時衛生勤務に従事された旧日本赤十字社救護看護婦および旧陸海軍従軍看護婦の方(慰労給付金受給者は除く)に対して、その御苦労に報いるため内閣総理大臣名の書状を贈呈しております。
ご本人またはご家族などからのご連絡をお待ちしております。

▽問い合わせ先

東京都千代田区霞が関2-1

112

総務省大臣官房管理室業務担当

☎03(5253)5182

「あまみ長寿食材活用レシピ集」を実費販売

「広報きかい」5月号で、奄美地域独特の食材を使った「あまみ長寿食材活用レシピ集」が県から発刊され、町図書館に二部納入してあることをお知らせしましたが、この度、実費販売ができるようになったとの連絡がありました。定価780円。送料や振り込み手数料は購入者負担です。

問い合わせ・申し込みは、(社)

鹿児島県栄養士会 TEL099

(256)1216まで。

新庁舎建設に伴う寄付金および寄贈品

新庁舎建設に伴い、郷里「喜界島」の振興・発展を願う沖縄喜界郷友会会長のご尽力により、会員60人から善意の寄付金百二十六万五千円の贈呈がありました。この崇高な想いに対し衷心より感謝申し上げます。掲載にあたっては、お一人お

一人のご芳名は省略させていただきます。併せて、坂嶺出身の片倉輝夫氏(鹿児島在住)からも絵画「奏」の寄贈がありました。いずれも「広報きかい」6月号に記載し紹介すべきでしたが、紙面紹介が今月号になりました。ご了承下さい。

平成18年度 自衛官等募集案内

募集種目	資格	受付期間	試験期日	募集人員	合格発表	
航空学生	高卒(見込含) 21歳未満	8月1日～9月8日 ※1	1次 9月23日 2次 10月14～19日 3次 11月12日～ 12月8日	海 約70名 (うち女子若干名) 空 約70名 (うち女子若干名)	1次 10月6日 2次 11月2日 最終 19年1月26日	
一般曹候補学生	18歳以上 24歳未満の者	8月1日～9月8日 ※1	1次 9月16日 2次 10月7～13日	陸 約400名 (うち女子約35名) 海 約180名 (うち女子約10名) 空 約200名 (うち女子20名)	1次 10月2日 最終 11月8日	
曹候補士	18歳以上 27歳未満の者	8月1日～9月8日 ※1	1次 9月16日 2次 10月7～13日	陸 約3500名 (うち女子約120名) 海 約960名 (うち女子約65名) 空 約800名 (うち女子90名)	1次 10月2日 最終 11月15日	
2等 陸・海・空士	男子	18歳以上 27歳未満の者	年間を通じて行っております ※1	受付時にお知らせします ※2	陸 約5,200名 海 約1,100名 空 約1,640名	試験時にお知らせします
	女子	18歳以上 27歳未満の者	8月1日～9月8日 ※1	9月24・25日	陸 約500名 海 約80名 空 約150名	11月17日

※1：平成19年3月中学校・高等学校卒業予定者及び中等教育学校前期課程修了予定者、卒業予定者の受付については、上表にかかわらず、文部科学・厚生労働両省から示された期日以降実施します。
※2：平成19年3月高等学校卒業予定者及び中等教育学校卒業予定者のための採用試験は、原則として平成18年9月16日以降に行います。
◇詳細につきましては、役場総務課(65-1111)又は、自衛隊鹿児島地方連絡部大島事務所(53-9103)までお問い合わせ下さい。

教育委員会のつづり

音の豊かさにウツトリ
「器楽・楽しい音楽の旅」



鹿交響楽団のアンサンブルに聴き入る参加者

あり、鹿児島交響楽団の公演が行われました。

演奏会では弦楽器や管楽器のアンサンブルや箏独奏など、いろいろな楽器の音色を心ゆくまで楽しめました。入場料無料とあって、千人近い小・中・高校生や一般の方が詰めかけました。

○児童生徒を代表して皆さんの演奏を通して、改めて音楽の楽しさやすばらしさを学びました。そして、感動をもらいました。これから

平成十八年度喜界町子ども会育成連絡協議会総会

喜界町子ども会育成連絡協議会の総会が六月十日、自然休養村管理センターにおいて開催されました。

開会行事で先山子ども会が大島地区子ども会育成連絡協議会から優良子ども会表彰を受け、羽佐田会長から表彰状の伝達がありました。また、平成十八年度事業計

も、演奏を通して多くの人々に夢や希望を与えてください。本日は、本当に有り難うございました。(第一中学校 岩下幸愛)

画・予算(案)が承認され、町子連として「子どもたちが主役となる子ども会活動」の積極推進を確認しました。

平成十八年度第一回総合家庭教育学級



子育ての講演に熱心にメモをとる参加者も

昨年十二月に行われた第十三回喜界町生涯学習推進大会分科会の実践事項です。各家庭や子ども会活動等で実践しましょう。

実践していますか？

〈第1分科会〉
自立を育む青少年教育部会

地域や家庭において、子ども達が主役となる活躍の場を与えるようにします！

老若六十人、楽しい汗流す



「ニュースポーツ体験教室」

早町校区民を対象とした「ニュースポーツ体験教室」が五月二十七日、早町小学校体育館で催されました。

昨年行われた第十三回喜界町生涯学習推進大会分科会での実践事項「地域のリーダー(体育指導委員等)を活用し、各地域・職場で健康づくりに努めます」に対する推進策を

きっかけに、「声がかかるのを待つより自分たちから出向いて行こう」というメンバーの一声でスタートしました。当日は、ペタンクやゲールゲームなど五種目を紹介。小学生から高齢者まで約六十人の参加者が楽しく汗を流しました。体育指導委員の武田秀伸会長は「今年度中に一中・二中校区でも開催し、底辺の拡大を図りたい」と抱負を語りました。

六月十日の喜界町子ども会育成連絡協議会総会の終了後、引き続き、平成十八年度第一回総合家庭教育学級を開催しました。

まず、折田国雄先生を講師

に「子育ては、ハンドルの遊びで」という演題で講演。昔と現在の衣食住やしつけ・礼儀などの違いを例にとり、「子育てはハンドルの遊びのように違いもあるが、ゆとりを持って行うことが大切」というお話でした。

また、上嘉鉄小学校家庭教育学級生が、今年度の主な学習課題及び内容、現在町P連で推進している「家庭学習六十・九運動」の現状と課題について事例発表しました。参加者は各学級・家庭で学んだことを生かそうと熱心にメモをとっていました。

喜界歌壇

梅雨晴れに熟れしトマトの初
生りを露の葉に盛り祖に供え
る

梅雨晴れに若葉青葉のさざめ
きたのし生命あふれる青空の
下

療養の鹿児島の地で六調を聞
けばひとしお奄美恋しき

雨脚のしげき梅雨の季を耐え
夏へと明ける日を待つもよし
有村 道子
竹田ヨシ子

降りて止み止みて又降る雨の
日の買い物いそぐ水色の傘

野も山も緑輝くふるさとの五
月の島を遠く思う日

長雨にもめげぬむくげは紫濃
く忍びつつ咲く人世のごとく

大降りの雨中に立てる大木の
枝葉おもりてしとど雫す

長雨にこもりて窓に目をやれ
ば背戸のサネンは花咲き盛る
郡 市子
弥島 幸子

歌詠みて卒寿迎えし先達の語
りはやさし外は雨なれど

雨止まぬ家居の今日は時かけ
て部屋それぞれの片づけを済
す

戸籍の窓
6月届出

こんにちは
赤ちゃん

わが家のアイドル



暖人くん(1歳9カ月)

父=将人 母=礼子(中里)

「おぎゃあ!」と元気な産声をあげてから早いもので暖人も1歳と9カ月を迎えました。

今ではしいぶりを発揮し、家族は毎日てんてこまいの日々を送っています。

得意なおしゃべりと少々三枚目な性格で私達を自然と笑顔に導いてくれるのは「暖人パワー」というものでしょうか。

たくましく元気で、優しく温かい心の持てる子に育ってほしいと思います。

夏の省エネキャンペーン

7月1日～9月30日

夏はエネルギー消費が大きなピークを迎える季節です。深刻化する地球温暖化問題、増加傾向にあるエネルギー需要からも、今後、省エネルギー活動を一層強化することが必要です。

資源エネルギー庁

氏名	住所	職業
町田 法雄	上嘉鉄 湾	保護者
上地 徠稀	浦原	浩二
荒木 中里	吉原	博之
荒木 晴永	清道	秀憲
荒木 照	周一	

ごめい福を
お祈りします

新垣 秀人 赤連
小野 千昌 赤連

社協だより

香典返し

上嘉鉄 友岡 芳俊

荒木 晴永	88才
荒木 岩村	80才
上嘉鉄 友岡	93才
伊実久 賀直	83才
羽里 上原	83才
手久津久 本中	97才
湾 勇	91才
荒木 照	92才
荒木 深水	93才

……喜界町の推計人口……

(平成18年6月30日現在)

世帯数	3,775戸 (-3)
人口	8,518人 (-3)
男	4,009人 (-1)
女	4,509人 (-2)
—— () は前月比 ——	

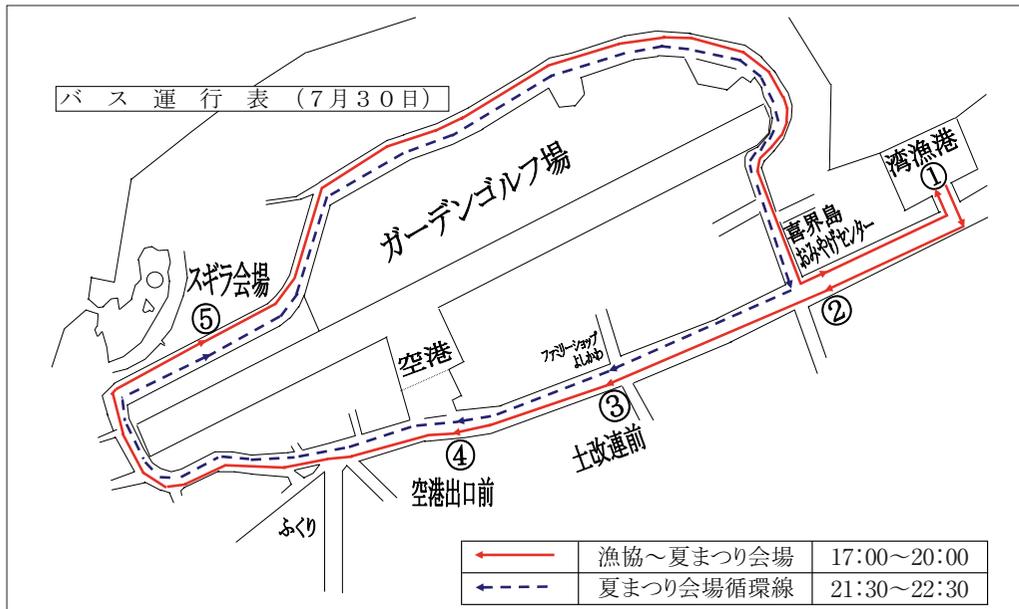
● 夏祭り交通路案内 ●

無料バス運行表 (7月30日)

漁協～夏祭り会場

① 漁協前	17:00発	17:20発	17:40発	18:00発	18:20発	18:40発	19:00発	19:20発	19:40発
② 喜界島おみやげセンター前	17:02発	17:22発	17:42発	18:02発	18:22発	18:42発	19:02発	19:22発	19:42発
③ 土改連前	17:04発	17:24発	17:44発	18:04発	18:24発	18:44発	19:04発	19:24発	19:44発
④ 空港出口前	17:06発	17:26発	17:46発	18:06発	18:26発	18:46発	19:06発	19:26発	19:46発
⑤ 夏まつり会場前	17:10発	17:30発	17:50発	18:10発	18:30発	18:50発	19:10発	19:30発	19:50発
② 喜界島おみやげセンター前	17:14発	17:34発	17:54発	18:14発	18:34発	18:54発	19:14発	19:34発	19:54発
① 漁協前	17:16発	17:36発	17:56発	18:16発	18:36発	18:56発	19:16発	19:36発	19:56発

⑤ 夏まつり会場前	21:30発	21:44発	21:58発	22:12発	22:26発
② 喜界島おみやげセンター前	21:34発	21:48発	22:02発	22:16発	22:30発
③ 土改連前	21:36発	21:50発	22:04発	22:18発	
④ 空港出口前	21:38発	21:52発	22:06発	22:20発	
⑤ 夏まつり会場前	21:42発	21:56発	22:10発	22:24発	



3歳児健診(平成18年4月26日)でむし歯のなかったお友達です。
＝第2回目＝



福田華杏ちゃん



平 勇弥斗くん



沼 和寿喜くん



野間早耶香ちゃん



中島 梨瑚ちゃん



瀧元 和樹くん

目指せ
「笑顔輝く」
元気な喜界っ子